

## ディスポーザブル神経ブロック針

## 再使用禁止

## 【禁忌・禁止】

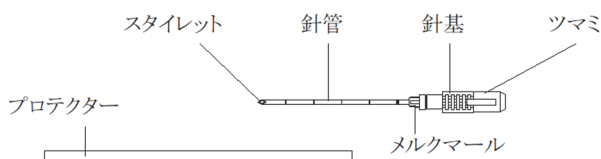
再使用禁止

## 【形状・構造及び原理等】

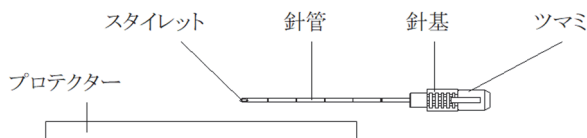
- \*\* 本品は、経皮的神経ブロック手技のために用いる。  
本品は、針管及び針基からなる外針とスタイレット及びツマミからなる内針とで構成される麻酔用の針である。コネクタ部は、ISO80369-6(神経麻酔用コネクタ規格)対応品である。

## &lt;構造図(代表図)&gt;

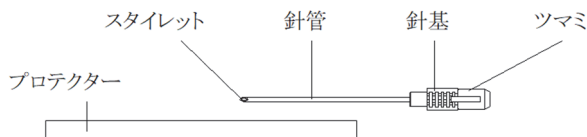
## \*\* 1. MM type



## 2. PM type



## 3. KT type



- 1) 針管及びスタイレット: ステンレス鋼(ニッケル・クロム含有)
- 2) 針基: ポリメチルペンテン、真鍮(ニッケル鍍金)

## 【使用目的又は効果】

- \*\* (承認申請書に記載なし)

## 【使用方法等】

- 1) 皮膚消毒を行う。
- 2) 針を進める landmark を定める。
- 3) 細い針を用いて皮内に少量の局所麻酔剤を注入する。
- 4) 針基とツマミを把持して目的の部位まで刺入する。
- 5) 内針を抜き取り、針が血管に入っていないことを確認する。
- 6) 薬液を充填したシリンジを針基に接続し、薬液を注入する。

## &lt;使用方法等に関連する使用上の注意&gt;

- \*\*
- 1) 使用の際は、汚染に十分注意すること。
  - 2) 針基とツマミが正しくセットされていることを確認の上、使用すること。
  - 3) 針管及びスタイレットは直接手を触れないこと。  
[針刺し、感染のおそれがある。]
  - 4) 針管及びスタイレットの先端部がプロテクターに触れないようにすること。  
[刃先が変形し、穿刺性能が低下する場合があります。]

- 5) 穿刺の際は、神経損傷に十分注意すること。
- 6) 針管に過剰な負荷が掛かるような操作は行わないこと。  
[組織を損傷、裂傷させたり、本品が破損したりするおそれがある。]
- 7) 接続部に薬液や血液等を付着させないこと。  
[接続部の緩み等を生じる可能性がある。]

## 【使用上の注意】

## &lt;重要な基本的注意&gt;

- \*\* プロテクターをリキャップする必要がある場合には、誤刺に注意すること。

## &lt;不具合・有害事象&gt;

手技に伴い、一般的な不具合や有害事象が発生する恐れがある。有害事象が発生した場合は術者の知見に基づき、適切な処置を行うこと。

- 1) その他の不具合
  - ① 本品破損
  - ② 液漏れ
- 2) 重大な有害事象
  - ① 感染
  - ② 神経損傷
  - ③ 局所麻酔薬血管内注入
  - ④ 局所麻酔薬中毒
  - ⑤ 血圧低下
  - ⑥ 血腫
  - ⑦ 気胸
- 3) その他の有害事象
  - ① アレルギー反応
  - ② 組織損傷

## 【保管方法及び有効期間等】

## &lt;保管方法&gt;

水ぬれ、直射日光、高温多湿を避け保管すること。

## &lt;有効期間&gt;

箱に記載している使用期限を参照のこと。(自己認証による)

## 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

## &lt;製造販売業者&gt;

株式会社八光  
TEL 026-275-0121

## &lt;製造業者&gt;

株式会社八光

## 販売窓口:

東京都文京区本郷三丁目 42-6  
TEL 03-5804-8500